

出雲市総合振興計画「出雲新話2030」前期基本計画（令和4年度～令和6年度）に係る令和4年度の進捗状況の評価・検証等について

出雲市総合振興計画「出雲新話2030」前期基本計画の令和4年度の進捗状況について、評価・検証を行いましたので、その結果を報告いたします。

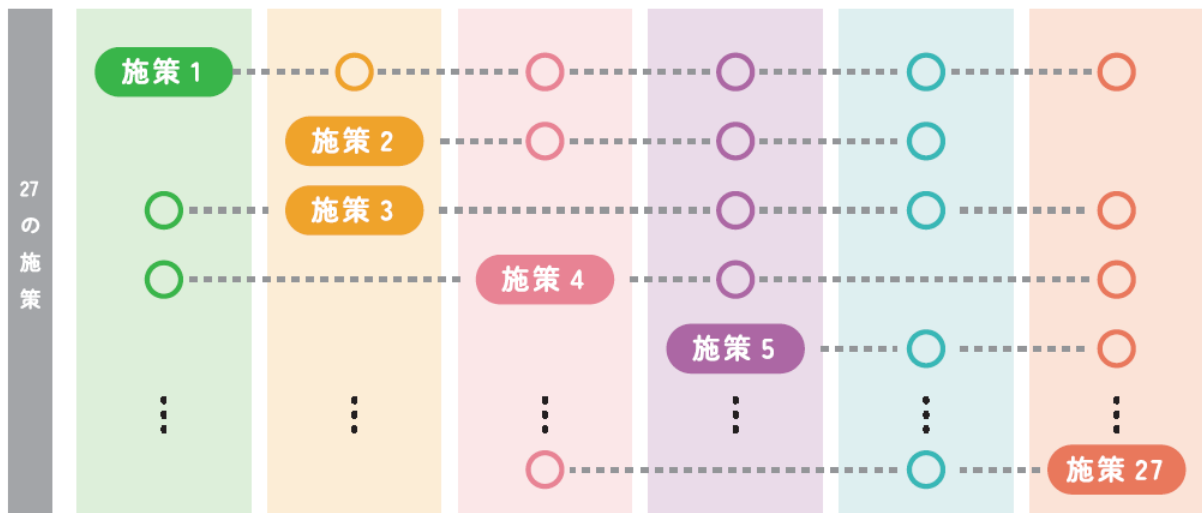
1 施策体系の概要

本市の将来像『出雲力』で夢☆未来へつなげ「誰もが笑顔になれるまち」の実現に向けて、「みんなが活躍する」「地域の魅力を生かした」「持続可能な」まちづくりの取組を進めるため、「出雲新話2030」では「6つの基本方策」とそのチャレンジ目標を定めています。また、まちづくりの各施策については、6つの基本方策を横断的に捉え、「27項目のまちづくりの施策」で構成し、それぞれ重要業績評価指標（KPI）を定めています。

【 6つの基本方策 】



まちづくりの各施策(取組)については、6つの基本方策を横断的に捉え、全部で27項目の施策で構成し、推進します。



【 施策体系図の見方 】

- ◇施策体系図は、次のページの表で示します。
- ◇まちづくり施策(取組)の右欄の★は、「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」[計画期間:令和2年度(2020)～令和6年度(2024)]にも記載されている施策で、整合性を図るものです。
- ◇まちづくりの施策(取組)について、横断的に取り組む基本方策に○をつけ、その中で主要な取組に、●をつけています。
- ◇まちづくりの施策(取組)は、●に該当する基本方策に、その基本的方向を記載しています。

例:01 海・山・大地の恵みを生かす ⇒ 基本方策「ともに創る」に● ⇒ 「ともに創る」に基本的方向を記載

【 施策体系図 】

まちづくりの施策（取組）			ともに創る	ともに守る	ともに結ぶ	ともに支える	ともに育む	ともに楽しむ
01	海・山・大地の恵みを生かす	★	●	○	○	○	○	○
02	“出雲”の「ブランド力」で価値を高める	★	●	○	○	○	○	○
03	地場企業が地域を支える	★	●	○	○	○	○	○
04	多種多様な企業立地を	★	●	○	○	○	○	○
05	「人財力（じんざいりょく）」で地域産業を“前へ”	★	●	○	○	○	○	○
06	誰もが「安全・安心」に暮らせるまちに	★	○	●	○	○	○	○
07	未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ		○	●	○	○	○	○
08	期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲	★	○	○	●	○	○	○
09	「住みたい」、「住み続けたい」の縁結び	★	○	○	●	○	○	○
10	ヒト、モノ、コトを短時間でつなぐ	★	○	○	●	○	○	○
11	あのまち・このまち 出雲を結ぶ	★	○	○	●	○	○	○
12	いにしへの「財（たから）」を守り、活かす		○	○	●	○	○	○
13	「産みたい」「育てたい」を応援	★	○	○	○	●	○	○
14	ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を	★	○	○	○	●	○	○
15	いつまでも元気、ずっと現役で	★	○	○	○	●	○	○
16	誰もが大切にされる社会をめざして	★	○	○	○	●	○	○
17	ぬくもりのある福祉サービスを		○	○	○	●	○	○
18	地域特性を生かして安心な医療を		○	○	○	●	○	○
19	地域とともに持続可能な中山間地域を	★	○	○	○	●	○	○
20	出雲のインフラを整え「安心」を支える		○	○	○	●	○	○
21	デジタルの力で未来をデザイン		○	○	○	●	○	○
22	家庭・地域・学校で育む出雲の教育を	★	○	○	○	○	●	○
23	人が地域を、地域が人を育てる	★	○	○	○	○	●	○
24	芸術文化で豊かな出雲を		○	○	○	○	○	●
25	スポーツで元気な出雲を		○	○	○	○	○	●
26	誰もの「学びたい」を実現		○	○	○	○	○	●
27	出雲の魅力、発信します	★	○	○	○	○	○	●

※★は、「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」に記載

2 令和4年度（前期基本計画1年目）の重要業績評価指標（KPI）の評価結果

6つの基本方策	指標数	評価・達成率					その他 ^{※1}
		A 100%以上	B 99～80%	C 79～60%	D 59%以下	合計	
ともに創る 雇用創出・農林水産業・ 商工業・IT産業・ 出雲ブランドなど	28	16	5	3	3	27	1
		59.3%	18.5%	11.1%	11.1%	100%	
ともに守る 防災・防犯・脱炭素・ 環境問題・空き家対策・ トキによるまちづくり など	24	15	2	0	3	20	4
		75.0%	10.0%	0.0%	15.0%	100%	
ともに結ぶ 観光・移住定住・交通 ネットワーク・広域連携・文 化財活用など	32	20	5	3	2	30	2
		66.7%	16.7%	10.0%	6.6%	100%	
ともに支える 子育て・健康・福祉・ 医療介護・中山間地域 振興・インフラ・デジタルな ど	65	27	17	5	4	53	12
		50.9%	32.1%	9.4%	7.5%	100%	
ともに育む 教育・市民活動・自治 会活動など	21	6	10	3	0	19	2
		31.6%	52.6%	15.8%	0.0%	100%	
ともに楽しむ 芸術文化・スポーツ・ 生涯学習・情報発信 など	25	13	7	2	2	24	1
		54.2%	29.2%	8.3%	8.3%	100%	
合計	195	97	46	16	14	173	22
		56.1%	26.6%	9.2%	8.1%	100%	

※1 単年度で実績値の把握や達成率の算出が困難な項目及び国・県事業等、市が主体となつてできない事業または外的要因の影響が大きいなどの理由によりKPIを設定していない項目

【評価方法】令和4年度の目標値と実績値とを比較して達成率を算出し評価区分を判定

令和4年度目標値に対する令和4年度実績値の達成率

A：10割以上、B：8割以上10割未満、C：6割以上8割未満、D：6割未満

【目標達成率の算出方法】

令和4年度の実績値÷令和4年度の目標値^{※2}×100

※2 評価のために、便宜上、前期基本計画で設定したR6年度の目標値を3か年度（R4～R6）で均等分割し、設定した目標値を含みます。

【評価（全体総括）】

令和4年度は新型コロナの影響が残る中ではありましたが、全体では、指標数195項目のうち、達成率が算定可能な173項目中、A評価とB評価を合わせると目標達成率80%を超える項目が143項目あり、全体に占める割合は82.6%と、概ね目標を達成しました。

特に、「ともに守る」の項目（防災・防犯、環境等の分野）は、実績が目標を上回るA評価が70%を超えました。また、「ともに結ぶ」の項目（観光、移住定住・交通ネットワークなどの分野）は、60%を超え、比較的高い達成率となっています。

この前期基本計画1年目の成果を評価・検証し、次年度以降「出雲新話2030」のまちづくりの将来像実現に向けて、更に取り組を進めていきたいと考えています。

3 基本方策ごとの進捗状況・評価

(1)ともに創る

チャレンジ目標	新規雇用創出（8年間）2,000人（年平均250人）
令和4年度実績値	380人（令和3年度実績 268人）

【評価（チャレンジ目標）】

年平均目標値250人を130人上回る380人の新規雇用が生まれ、目標を達成しました。（達成率152%）

このうちの約7割が、製造業やITなどソフト産業を中心とした誘致企業における新規雇用です。新型コロナの影響を受けながらも、国・県・市の各種支援策の活用などにより、多くの市内企業が堅調な事業展開を進められたと考えられます。また、令和4年3月の日御碕サテライトオフィスのオープンに伴い、IT企業の新規立地が進んでいることから、今後さらに誘致企業による雇用の増加が見込めます。

農林水産業においては、魅力アップのための情報発信や担い手確保・育成支援などの取組により、多くの新規就業につなげることができました。

<ともに創る>重要業績評価指標(KPI)一覧(1/3)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値	評価	総合戦略重複
					R4年度	R6年度末	R4年度		
海・山・大地の恵みを生かす	1	新しい農業のカタチへの挑戦	国のスマート農業技術の開発・実証プロジェクトで効果のあったスマート農業機械(自動操舵システム、水田センサー、農業用ドローン、環境モニタリングと自動換気システム)の導入経営体数(累計)	経営体	33	45	36	A	
			多面的機能支払交付金の取組面積	ha	5,580	5,650	5,615	A	
	2	農村環境を次世代へつなぐ	担い手への農地利用集積面積(集積率)	%	81	83	78	B	
			国営事業進捗率(予算ベース)(累計)	%	16	30	19	A	

<ともに創る>重要業績評価指標(KPI)一覧(2/3)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値 R4年度	評価	総合戦略重複
					R4年度	R6年度末			
海・山・大地の恵みを生かす	3	「農林水産業」の魅力アップでやりたい職業へ	認定新規就農者の認定数(累計)	人	7	21	10	A	
			新規林業就業者の雇用者数(累計)	人	4	9	4	A	
			自営漁業者及び漁業経営体新規就業者数(累計)	人	4	9	4	A	
	4	農福連携で相乗効果を	農福連携の実施事業所数(出雲市内)	事業所/年	17	18	15	B	
	5	循環型林業で新たな道を”伐り”拓く	民有林に対する森林経営計画の策定割合	%	22	25	24	A	
	6	豊かな海の恵みのタスキをつなぐ	漁港長寿命化事業実施施設数(累計)	施設	2	5	2	A	
”出雲”の「ブランド力」で価値を高める	7	出雲の”誇り”を全国・世界へ発信	出雲ブランド商品認定商品数(累計)	商品	28	39	28	A	★
	8	「おいしい出雲」でご縁をつなぐ	おいしい出雲認定商品数(累計)	商品	133	150	133	A	★
	9	海・山・大地の恵みに新たな発想を	島根ぶどうの生産量	t/年	1,020	1,028	998	B	
シジミ漁獲量(穴道湖全体・神西湖・神戸川の合計)			t/年	4,112	4,150	4,306	A		
地場企業が地域を支える	10	ネットワークで中小・小規模企業の未来を創る	出雲市中小企業景況調査第4四半期の業種別景況における売上が、「好転」と回答した事業者と、「不変」と回答した事業者の割合の合計値	%	56.4	58.3	76.4	A	
	11	創業支援で夢をかなえる	創業件数(累計)	件	131	200	163	A	★
	12	ご縁の力で国内外へビジネスチャンスを拡大	圏域市長会ビジネスマッチング(BM)及び21世紀出雲産業支援センター実施の商談会における成約件数(累計)	件	159	265	82	D	
	13	産学官金連携で新商品・新サービスを開発	マッチング支援(事業化)件数(累計)	件	7	15	4	D	
	14	“きらり”と光る事業者やノウハウを次世代につなぐ	事業承継計画策定件数(企業数)	件/年	25	25	23	B	
多種多様な企業立地を	15	「出雲で働きたい」をかなえる	企業進出及び事業拡張に伴う雇用創出数	人	100	100	108	A	
	16	「魅力度No.1」の企業立地環境を	製造業・ソフト産業の立地計画認定件数	件/年	7	7	5	C	★
”人財力”で地域産業を”前へ”	17	「企業とご縁」を結ぶ	学生・UIターン就職支援窓口相談者のうち市内就職者数	人/年	40	50	29	C	
	18	「帰ってきたい」を全力サポート	企業との交流会参加学生数	人/年	80	80	30	D	
いずれも学生登録登録者数(累計)			人	476	820	441	B		

<ともに創る>重要業績評価指標(KPI)一覧(3/3)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値	評価	総合戦略重複
					R4年度	R6年度末	R4年度		
「人財力(じんざいりよく)」で地域産	19	「働き続けたい」を100%に	職場定着向上セミナー受講者数	人/年	100	100	70	C	★
			ヘルス・マネジメント認定制度市内健康宣言事業所数	事業所/年	310	310	336	A	
	20	IT人材が育ち、集まるまちへ	IT企業従業者数(累計)	人	478	525	514	A	★
	21	出雲で進学の実をかなえる	大学等高等教育機関(学科を含む)の誘致数(累計)	件	—	0	—	—	

<ともに創る>重要業績評価指標(KPI)の評価結果

指標数	評価				その他
	A	B	C	D	
28	16	5	3	3	1

【評価】

雇用創出・農林水産業・商工業・IT産業・出雲ブランド等の分野においては、概ね目標を達成しました。

A評価のうち、「認定新規就農者」、「新規林業就業者」、「新規漁業就業者」は、いずれも目標を達成しており、就業者数が増えている状況です。

一方、D評価となったのは、3項目でした。

「圏域市長会ビジネスマッチング及び21世紀出雲産業支援センター実施の商談会における成約件数」は、新型コロナの影響や物価高騰等により企業活動が回復しきれていない状況で、事業者の参加やバイヤー活動が低調だったことが要因として挙げられます。今後も、引き続きビジネスマッチング、商談会等への参加企業数増に向けた広報活動、バイヤー招致活動等を実施します。

産学官金連携による新商品・新サービスの「マッチング支援件数」は、マッチングの場である市内事業者向けのセミナー・個別相談会について新型コロナの影響により、実施できなかったことが要因として挙げられます。今後も、引き続きマッチング支援を行うとともに、県が行う産学官連携の事業も活用しながら情報収集に努めます。

「企業との交流会参加学生数」は、長く続いたコロナ禍により、交流会に出て様々な人と関わりたいという学生が減少しているのではないかと推察されます。今後は、学生への情報発信を強化し、市内・県外での交流会等を継続して取り組みます。

(2)ともに守る

チャレンジ目標	CO ₂ の排出量削減（8年後）46%（平成25年度比）
令和4年度実績値	11.6%削減※（平成25年度比） ※令和4年度環境省公表（令和2年度実績値）データより

【評価(チャレンジ目標)】

平成25年度比でCO₂の排出量を11.6%削減しています。これは、市民や事業者の環境意識の高まりによるものと推察できますが、目標達成のためには更なる取組が必要です。

なお、公表データは令和2年度実績値であるため、令和4年4月に新出雲エネルギーセンターが本格稼働し、助燃材の使用量が旧エネルギーセンターに比べて大幅に減ったことや、市の高圧受電施設の電力をバイオマス発電等を主電源とする「いずも縁結び電力株式会社」に切り替えたことは、今後のCO₂削減に寄与することが見込まれます。

<ともに守る>重要業績評価指標(KPI)一覧(1/2)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値 R4年度	評価	総合戦略 重複
					R4年度	R6年度末			
誰もが「安全・安心」に暮らせるまちに	22	災害から生命・財産を守る	防災行政無線個別受信機、有線放送及びいずも防災メールの加入・登録者(世帯)数(累計)	人・世帯	34,353	55,000	38,014	A	★
			優先して個別避難計画を作成すべき避難行動要支援者の計画作成率	%	70	80	25	D	
	23	感染症から身を守る	感染症予防事業は市が主体となつてできない事業又は外的要因の影響が大きい事業のためKPIを設定しない	—	—	—	—	—	
			交通安全協力店の店舗数(累計)	店舗	50	80	51	A	
	24	交通事故・犯罪にあわないまちに	消費者問題の研修・講座・教育の参加者(累計)	人	1,950	2,150	1,958	A	
			河川事業は市が主体となつてできない事業又は外的要因の影響が大きい事業のためKPIを設定しない	—	—	—	—	—	
	25	安全な「かわ・みち」づくり	地域の交通安全のための歩道整備は長寿命化改修工事等、終期なく維持修繕を行う事業のためKPIを設定しない	—	—	—	—	—	
			いずも空き家バンク登録者数	件/年	25	30	27	A	★
	27	神話の地～出雲の守り人	心肺蘇生法を習得する救命講習普及率	%	22	23	23	A	
			市民による応急手当実施率	%	56	58	53	B	
28	地域を守る消防団	消防団員の充足率	%	90.16	90	90	A		

<ともに守る>重要業績評価指標(KPI)一覽(2/2)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値	評価	総合戦略重複
					R4年度	R6年度末	R4年度		
未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ	29	脱炭素のカギを握るのは再生可能エネルギー	再生可能エネルギー発電容量(累計)	kW	182,412	192,584	184,880	A	
	30	みんなで取り組むCO ₂ 削減	二酸化炭素排出量	千t-CO ₂	—	—	—	—	
			民有林に対する航空レーザ計測及び森林資源解析の実施面積(累計)	%	20	60	38	A	
	31	3Rで資源の循環を	ごみの排出量	t/年	57,908	57,316	57,847	A	
			ごみの最終処分量	t/年	9,181	9,061	9,395	D	
	32	安全安心・快適な生活環境を次の世代へ	河川水質の環境基準達成率(BOD)	%	100	100	100	A	
			穴道湖・神西湖の水質汚濁の程度を示す指標(科学的酸素要求量(COD))	mg/l	穴道湖 5.2 神西湖 5.9	穴道湖 4.6 神西湖 5.6	穴道湖 4.6 神西湖 5.5	A	
			自動車騒音の環境基準達成率	%	100	100	100	A	
			海岸等一斉清掃参加者数	人/年	10,136	12,000	5,426	D	
	33	豊かな自然環境を次の世代へ	ホテルの生息が確認された地区の割合	%	73	80	63	B	
			自然体験事業の参加者数(年間)	人/年	8,000	14,000	8,202	A	
			環境学習施設の利用者数	人/年	50,000	53,000	50,425	A	
	34	トキが飛び交う「美しい出雲」を	出雲市で自然繁殖させるトキの数(累計)	羽	31	38	35	A	

<ともに守る>重要業績評価指標(KPI)の評価結果

指標数	評価				その他
	A	B	C	D	
24	15	2	0	3	4

【評価】

防災・防犯・脱炭素・環境・空き家対策等の分野においては、概ね目標を達成しました。

A評価のうち、「防災行政無線個別受信機、有線放送及びいずも防災メールの加入・登録者(世帯)数(累計)」は、目標値を上回る実績(達成率111%)となりましたが、更なる加入促進に向けて取り組んでいく必要があります。

D評価となったのは、3項目でした。

「避難行動要支援者の計画作成率」は、計画作成のハードルが高く感じられたことや、自治会加入率の低下などが要因として挙げられます。今後も引き続き、福祉事業所との連携を図るとともに、計画作成の推進に努めていきます。

「ごみの最終処分量」については、年々減少させる目標に反して増加しました。これは、コロナ禍により、在宅中の片付けごみが一斉に搬出されたことが要因の一つとして挙げられます。市民及び事業者への啓発を図り、引き続き、ごみの減量・再資源化に努めていきます。

「海岸等一斉清掃参加者数」は、大規模な清掃活動が、新型コロナの影響や、雨天により実施できなかったことが要因として挙げられます。

(3)ともに結ぶ

チャレンジ目標	交流人口（8年間）1億人（R4目標値 1,000万人）
令和4年度実績値	1,050万人（令和3年度実績 853万人）

【評価(チャレンジ目標)】

新型コロナの影響が残る中ではありましたが、令和4年度の目標値1,000万人を達成しました。

これは、出雲の魅力デジタルを活用した戦略的・効果的なプロモーションや観光需要喚起策となる出雲の観光キャンペーンを実施したことなどが要因として挙げられます。

<ともに結ぶ>重要業績評価指標(KPI)一覧(1/2)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値	評価	総合戦略重複
					R4年度	R6年度末	R4年度		
期待(来たい)が膨らむ観光のまち出雲	35	世界から「IZUMO」へ	外国人宿泊数[暦年]	人/年	1,200	12,000	1,581	A	★
	36	デジタルプロモーションで出雲旅へいざなう	観光入込客数[暦年]	万人/年	1,000	1,200	1,050	A	★
	37	「来て、観て、泊まって」出雲で満足	宿泊者数[暦年]	万人/年	70	80	72	A	★
	38	広域観光で楽しむ	観光入込客数[暦年]	万人/年	No.36と同様				★
	39	日本遺産で魅力を発信	「日が沈む聖地出雲」ホームページの閲覧回数	万回/年	22	24	34	A	
	40	「おもてなし」の環境を整える	宿泊者数[暦年]	万人/年	No.37と同様				★
「住みたい」、住み続けたい」の縁結び	41	びったりな支援で移住・定住の希望を叶える(住む人も地域もwin-winな移住・定住を)	市への相談や助成金等の利用により定住に結び付いた助成事業利用によるUターン者数	件/年	80	80	85	A	
			女性のUターン女性事業利用によるUターン者数	人/年	20	20	13	C	★
			移住促進住まいづくり助成認定件数	件/年	10	10	29	A	★
			新婚・子育て世帯Uターン支援助成件数	件/年	35	35	4	D	★
			過疎地域等への移住・定住促進住まいづくり助成件数	件/年	30	30	66	A	★

<ともに結ぶ>重要業績評価指標(KPI)一覧(2/2)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値	評価	総合戦略重複
					R4年度	R6年度末	R4年度		
「住みたい」、「住み続けたい」の縁結び	42	外国人住民が暮らしやすいまちづくり	外国人住民5年定住率	%	40.0	42	37.9	B	★
	43	人と人との縁を結び「結婚したい」を後押し	婚活・支援者セミナー実施回数	回/年	3	3	5	A	
			婚活・支援者セミナー参加人数	人/年	80	80	161	A	
			ライフデザイン講座開催数	回/年	3	3	3	A	★
44	対話を通じたまちづくり	広聴事業の実施回数(年間) ①市長とまちづくりミーティング②市長とふれあいミーティング③市長の訪問ミーティングの合計	回/年	20	20	15	C		
ヒト、モノ、コトを短時間でつなぐ	45	国内外を結ぶ出雲縁結び空港	出雲縁結び空港就航便の年間利用者数	万人/年	100	103	82	B	★
	46	線路がつなく旅と暮らし	市内の鉄道駅(JR)における1日平均利用者数の合計値	人/年	2,900	3,800	3,242	A	
	47	賑わう出雲河下港に	出雲河下港 取扱出入貨物量(暦年)	t/年	185,000	200,000	236,875	A	
			出雲河下港 利用船舶数(暦年)	隻/年	177	180	195	A	
	48	魅力ある「みち」づくりをプッシュする	「出雲・湖陵道路」、「湖陵・多伎道路」の進捗率(累計)	%	85	100	85	A	★
49	8の字ルートの「みち」づくり	境港出雲道路の整備事業については、国・県事業等市が主体となっており、事業又は外的要因の影響が大きい事業であるためKPIを設定しない	—	—	—	—	—		
あのまち、このまち 出雲を結ぶ	50	広域連携でスケールメリットを最大限に発揮	中海・宍道湖・大山圏域市長会圏域内への移住者数	人/年	3,000	3,000	2,904	B	★
	51	ジオパークが大地と人とのつながりを伝える	ジオパーク教育プログラム実施件数	件/年	30	40	38	A	
			地域住民向け出前講座、ジオツアー開催回数	回/年	3	7	16	A	
			日御碕ビジターセンター来場者数	人/年	25,000	36,000	18,230	C	
	52	国際交流で「IZUMO人」を育てる	国際交流員の講演・交流事業回数	回/年	120	180	113	B	
53	国内交流で出雲ファンを増やす	三市交流、友好都市等 年間交流回数	回/年	7	6	7	A		
いにしえの「財(たから)」を守り、活かす	54	出雲のルーツを探り、学び伝える	文化財調査報告書・研究紀要作成数	冊	2	2	5	A	
	55	出雲の財(たから)を未来へつなぐ	史跡の保存活用計画策定数	計画/年	—	1	—	—	
	56	いにしえの出雲を魅せる	出雲弥生の森博物館来館者数	人/年	27,500	30,000	27,623	A	
			荒神谷博物館来館者数	人/年	14,000	18,000	13,131	B	
	57	過去と未来を結ぶ人を育てる	出雲弥生の森博物館職員による「ふるさと歴史学習」に参加した児童生徒数	人/年	1,200	1,200	1,340	A	

<ともに結ぶ>重要業績評価指標(KPI)の評価結果

指標数	評価				その他
	A	B	C	D	
32	20	5	3	2	2

【評価】

観光・移住定住・交通ネットワーク・広域連携・文化財などの分野においては、概ね目標を達成しました。

A評価のうち、「宿泊者数」は、デジタルマーケティングによる情報発信や、観光客に響く周遊型旅行商品の造成などが要因として挙げられます。

D評価となったのは、2項目でした。

「神門通り地区 建物等修景助成件数」は、他の助成制度を活用されたことなどにより助成申請はありませんでしたが、景観に配慮した複数店舗の出店がありましたので、目的自体は達成されています。今後も、制度の周知を図り、賑わいのある門前町にふさわしい街並み形成に取り組みます。

「新婚・子育て世帯UIターン支援助成件数」は、様々な周知活動を行いました。が、制度初年度であったことが要因として挙げられます。今後も引き続きより一層の周知を図っていきます。

(4)ともに支える

チャレンジ目標	合計特殊出生率（8年後） 2. 1 健康寿命延伸（8年後） 1年 [男性 17.54年、女性 21.00年]
令和4年度実績値	合計特殊出生率 1. 62（令和3年度実績 1. 72） 健康寿命延伸 男性 0. 87年、女性 0. 53年 [男性 18.41年、女性 21.53年]

【評価(チャレンジ目標)】

令和4年度の合計特殊出生率は、前年度実績を下回る1. 62となりました。全国平均が1. 26、島根県平均が1. 57と比較すると高いと言えますが、目標達成のためには更なる取組が必要です。

また、健康寿命^{*1}は、基準値^{*2}より男性0. 87年、女性0. 53年それぞれ延伸しました。今後も引き続き、総合的な健康づくり、介護予防などに取り組みます。

※1 本市の平成29年～令和3年の65歳平均自立期間の平均値

※2 本市の平成23年～平成27年の65歳平均自立期間の平均値

<ともに支える>重要業績評価指標(KPI)一覧(1/4)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値	評価	総合戦略重複
					R4年度	R6年度末	R4年度		
「産みたい」「育てたい」を応援	58	子育てしやすい環境をつくる	保育所の待機児童数(国基準)	人/年	1	0	0	A	★
			児童クラブの入会未決定者数	人/年	54	0	54	A	
			4か月児健診受診率	%	98.0	100	99.6	A	
			1歳6か月児健診受診率	%	98.0	100	99.8	A	
			3歳児健診受診率	%	98.0	100	99.4	A	
			不妊治療費助成制度利用(申請)件数	件/年	206	250	154	C	★
			不育症治療費助成制度利用(申請)件数	件/年	10	50 (R2-6 5年間)	10	A	★
			あかちゃんのお世話教室満足度	%	95.0	100	95.7	A	★
			はじめての子育て講座満足度	%	93.0	100	90.4	B	★
			4か月児健診対象者の絵本とのふれあい実施率	%	100.0	100	100.0	A	★
			にこっとティタイム講座満足度	%	100.0	100	96.0	B	★
59	子ども・若者を地域で育て、見守る	子ども・若者支援センター協力事業所登録数	%	97	100	95	B		

<ともに支える>重要業績評価指標(KPI)一覧(2/4)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値	評価	総合戦略重複
					R4年度	R6年度末			
ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を	60	ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を	ワーク・ライフ・バランスの認知度	%	—	—	—	—	
			女性が仕事を続けやすいと感じている人の割合	%	—	—	—	—	
			家庭において男女が平等であると感じている人の割合	%	—	—	—	—	
			職場において男女が平等であると感じている人の割合	%	—	—	—	—	
			地域社会において男女が平等であると感じている人の割合	%	—	—	—	—	
いつまでも元気、ずっと現役で	61	生涯現役の社会をつくる	シルバー人材センター会員数	人	990	1,020	971.0	B	
	62	健康管理をし、健康寿命を延ばす	特定健診受診率	%	56.0	60	44.1	C	★
			①胃がん検診(40～69歳)受診率	%	10.0	10	5.4	D	★
			②大腸がん検診(40～69歳)受診率	%	50.0	50	36.8	C	★
			③乳がん検診(40～69歳)受診率	%	60.0	60	51.6	B	★
			④子宮がん検診(20～69歳)受診率	%	70.0	70	48.4	C	★
	⑤結核・肺がん検診(40～69歳)受診率	%	10.0	10	5.3	D	★		
	63	「食」から豊かな人生を	朝食を食べる子どもの割合 3歳児	%	98.0	100	97.4	B	★
			朝食を食べる子どもの割合 小学6年生	%	92.0	100	89.3	B	★
			朝食を食べる子どもの割合 中学3年生	%	92.0	100	87.8	B	★
食のボランティアの活動回数			回/年	284	330	295	A	★	
誰もが大切にされる社会をめざして	64	多様な価値観を認め、人権意識を高める	市民意識調査における「差別や人権侵害を受けたことがある」人の割合	%	—	—	—	—	
			固定的性別役割分担意識に否定的な人の割合	%	—	—	—	—	
			DV防止研修会参加人数	人/年	400	400	762	A	
			中学校・高校デートDV防止出前講座実施回数	回/年	12	12	13	A	
65	多様性を認めあい、みんなで作る～多文化共生～	市が主催又は共催で開催する多文化共生研修会、防災研修会、日本語教室等受講人数	人/年	817	900	1,030	A		
66	多様性を認める社会の実現～ソーシャルインクルージョン～	障がい者差別解消法における合理的配慮やあいさポート運動の普及啓発の講座受講人数	人/年	1,680	1,680	2,273	A	★	

<ともに支える>重要業績評価指標(KPI)一覧(3/4)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値 R4年度	評価	総合戦略 重複
					R4年度	R6年度末			
ぬくもりのある福祉サービスを	67	誰もが自分らしく活躍できる社会を～地域共生社会～	地域福祉活動を現在している、または過去にしたことがある人の割合	%	36.0	36.4	—	—	
	68	障がい者の自立と社会参加を支える	就労支援サービス利用者数	人/年	950	1,000	963	A	
	69	高齢者の暮らしを支える	「通いの場」等に月1回以上参加する高齢者の割合	%	6.8	10	5.8	B	
住民主体の地域の課題と解決策を検討する場(ワークショップ)や支え合いの組織づくりを検討する場(地域ささえあい会議)の開催につながった地区の割合			%	60.0	70	57.1	B		
地域特性を生かして安心な医療を	70	質の高い効率的な医療の提供	退院支援(退院調整)を受けた患者数	回/年	—	8,000	—	—	
			総合医療センターにおける健診・人間ドック受検件数	件/年	12,300	13,000	12,575	A	
			中山間地域等の条件不利地域を訪問する訪問看護ステーション数(累計)	事業所	17	18	17	A	
地域とともに持続可能な中山間地域を	71	中山間地域に新たな風を	地域おこし協力隊員数	人/年	5	7	5	A	
	72	中山間地域のポテンシャルを生かす	立地認定計画件数(中山間地域)[暦年](累計)	件	6	7	6	A	
			観光入込客数[暦年]	万人/年	No.36と同様				
	73	安心して住み続けられる中山間地域を	地区ビジョンの策定数(累計)	地区	3	4	2	C	
			中山間地域等直接支払の取組面積(累計)	ha	682	690	683	A	
			中山間地域でのスマート農業の実証で、効果のあったスマート農業機器の導入経営体数(累計)	経営体	1	5	1	A	
有害鳥獣による農林産物に係る被害額			千円/年	4,200	3,600	3,300	A		
出雲のインフラを整え「安心」を支える	74	地域の「かわ・みち」づくりで生活を豊かに	「幹線市道整備10か年計画」進捗率(事業費ベース)	%	50.0	70	40.5	B	
			「長寿命化修繕計画」進捗率(事業費ベース)	%	61.0	100	62.0	A	
	75	住まいを整える	市営住宅は長寿命化改修工事等、終期なく維持修繕を行う事業のためKPIを設定しない	—	—	—	—	—	
	76	上下水道で快適な生活を支える	水道施設管路の耐震化率	%	14.5	16.2	14.3	B	
汚水処理人口普及率			%	90.30	91.80	89.80	B		

<ともに支える>重要業績評価指標(KPI)一覧(4/4)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値	評価	総合戦略重複
					R4年度	R6年度末	R4年度		
出雲のインフラを整え「安心」を支える	77	利便性と癒しの都市空間を	平田行政センター整備進捗率	%	11	100	11.0	A	
			斐川行政センター整備進捗率	%	3	47	3.0	A	
			街路事業4路線(医大前新町線、高砂町渡橋千、下沢高西線、塩冶一の谷線)の進捗率(事業費ベース)	%	36.5	52	34.5	B	
			公園リフレッシュ事業整備率 ※「第1期公園施設長寿命化計画」(H26年度～R5年度)に基づくR4年度目標値に対しては90%進捗している。	%/年	—	10	—	—	
			地籍調査事業進捗率(累計)	%	52.76	55	53.05	A	
78	みんなのための地域内交通	公共交通の市民一人当たりの年間利用回数	回/人/年	1.81	2.05	1.80	B		
		市内における一畑電車の年間利用者数	万人/年	140	148	126	B		
79	グリーンステップC谷を生かす	斐伊川・神戸川治水事業等は市が主体となつてできない事業又は外的要因の影響が大きい事業のためKPIを設定しない	—	—	—	—	—		
80	出雲らしい景観を守りぬく	陰手刈り職人を育成する技術研修会への参加者数	人/年	10	10	10	A		
デジタルの力で未来をデザイン	81	市民サービスのデジタルファースト	しまね電子申請サービスにおけるオンライン申請利用件数	件/年	30,000	50,000	25,528	B	
	82	まちづくりのデジタルファースト	携帯電話の不感エリア箇所数(累計)	箇所	4	3	4	D	
	83	産業・観光のデジタルファースト	島根県オープンデータカタログサイトにおける保有データのオープンデータ登録済み件数(累計)	件	16	50	7	D	
	84	ともにデジタルファースト	高齢者向けスマートフォン教室参加者数(累計)	延べ人	390	1,290	508	A	

<ともに支える>重要業績評価指標(KPI)の評価結果

指標数	評価				その他
	A	B	C	D	
65	27	17	5	4	12

【評価】

子育て・福祉・医療介護・インフラなどの分野においては、概ね目標を達成しました。

A評価のうち「保育所の待機児童数」は、認可保育所の施設整備による定員の増や年度当初からの定員の弾力化により、待機児童数が0人となりました。

また、「乳幼児健診受診率」は、子育て教室、全戸訪問、相談等様々な場面での

周知や医療・関係機関の働きかけにより、受診意識が高まり、目標を達成できました。

D評価となったのは、4項目でした。

「胃がん検診」と「結核・肺がん検診」の受診率が低い結果となりました。今後は、この結果を踏まえ、個人通知やリマインド通知、SNSを活用した周知に取り組むとともに、休日セットがん検診や事業所健診との連携を検討したいと考えています。

「携帯電話の不感エリア箇所数」は、携帯電話事業者による移動通信鉄塔の独自整備や補助金活用事業への参画が得られなかったことが要因です。今後も引き続き、携帯電話事業者と協議を行うとともに、国の補助制度拡充に向けた要望活動を行っていきます。

「島根県オープンデータカタログサイトにおける保有データのオープンデータ登録済み件数」は、どのようなデータを追加するか、その方針が未決定だったことが要因です。今後、効果的なデータ利活用の方針を速やかに策定します。

(5)ともに育む

チャレンジ目標	高校生が「出雲に愛着や、魅力・誇りを感じる」と答えた割合 85%
令和4年度実績値	78.8% (令和3年度実績 81.1%)

【評価(チャレンジ目標)】

出雲に愛着や魅力・誇りを「感じる」、「ある程度感じる」と答えた高校生の割合は78.8%となり、前年度実績を下回りました。高校生が重要だと思う取組の問いに対し、「公共交通の充実」や「活気ある商店街づくり」等が上位に挙げられており、今後、このような取組を行っていく必要があります。

<ともに育む>重要業績評価指標(KPI)一覧(1/2)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値	評価	総合戦略重複
					R4年度	R6年度末	R4年度		
家庭・地域・学校で育む出雲の教育を	85	質の高い教育で学力アップ	「主体的・対話的で深い学び」の過程を重視した学習を計画的に取り入れている学校の割合(全国学調による)	%	77.3	100	—	—	
	86	ICT機器の活用で新たな学びのスタイルを	教職員と児童生徒がやり取りする場面で、ICT機器(学習支援ソフト)を活用した取組を行っている学校の割合(全国学調による)	%	28.4	100	—	—	
	87	学びを広げ深める学校図書館へ	小学校の学校司書(学びのサポーター)の配置校の割合	%	60.6	78.8	60.6	A	
	88	ふるさとへの愛を育む	全国学力・学習状況調査「地域や社会をよくするために何をすべきか、考えることがある」の児童生徒の肯定的回答の割合	%	小 53.5 中 48.8	小 60.0 中 60.0	小45.3 中43.6	B	
	89	家庭・地域と学校が手をつなぐ	「コミュニティスクールなどの仕組みを生かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営など保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。」に対する学校の肯定的回答の割合(全国学調による)	%	小 86.6 中 80.7	小 90.0 中 85.0	小 81.8 中 71.4	B	
			地域学校協働活動推進員の配置人数(年度末配置人数)	人	7	10	5	C	
			親学プログラムの参加者数	人/年	120	250	133	A	
	90	出雲ならではの学び体験を	児童生徒の科学館学習への関心度	%	90.5	91.0	89.6	B	
	91	子どもの育ちをなめらかにつなぐ	独自に幼児・児童の交流を行っている保育所・幼稚園・小学校の割合	%	92.4	95.0	66.7	C	
	92	一人ひとりの子どもの成長を支える	不登校児童生徒の割合	%	2.78	1.98	4.08	C	★
93	日本語指導で広がる子どもの希望	日本語習得に係る児童生徒の指導目標達成者の割合	%	81.4	85.0	83.0	A		
94	安全・安心でおいしい学校給食を	学校給食における地元産食材使用割合	%	73.5	75.0	72.1	B	★	
95	学びの場を整える	学校施設の耐震化率(累計)	%	99	100	99	A		

<ともに育む> 重要業績評価指標(KPI)一覧(2/2)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値	評価	総合戦略重複
					R4年度	R6年度末	R4年度		
人が地域を、地域が人を育てる	96	市民協働の力が地域課題を解決	市民協働事業支援補助金を活用する市民団体数	団体/年	6	6	5	B	★
	97	多様な学びを地域で生かす	生涯学習講座の年間実施回数	回/年	26	27	29	A	
			地域学校協働活動推進員の配置人数(年度未配置人数)	人	No.89と同様				
			社会教育士等の資格取得者数(累計)	人	26	30	24	B	
	98	NPO法人等の力を伸ばす	NPO法人を対象とした研修会や意見交換会への参加法人数	法人/年	29	35	26	B	
	99	ボランティア活動のススメ	ボランティア登録者数(年度未登録者総数)	人	24,831	25,000	24,459	B	
	100	自治会加入で暮らしに安心を	自治会加入世帯数	世帯/年	38,925	39,000	38,396	B	★
	101	"コミセン"が43のふるさとを支える	今後、新たに取り組む新築、耐震化、大規模改修の件数(累計)	件	1	5	1	A	
102	高等教育機関との連携で地域課題を解決	島根大学、島根県立大学及び市内専門学校との連携事業数(累計)	件	123	130	118	B	★	

<ともに育む> 重要業績評価指標(KPI)の評価結果

指標数	評価				その他
	A	B	C	D	
21	6	10	3	0	2

【評価】

教育分野、市民活動、自治会活動などの分野においては、概ね目標を達成しました。

A評価のうち、「日本語習得に係る児童生徒の指導目標達成者の割合」は、指導員等の計画的な配置により、きめ細かな指導や支援を実施することができました。

また、「生涯学習講座の年間実施回数」は、行政課題解決や地域の魅力を伝える生涯学習講座を連続実施したため、目標値を達成しました。

なお、D評価の項目はありませんでした。

(6)ともに楽しむ

チャレンジ目標	生涯学習等施設利用者数（8年間）2200万人 （年平均275万人）
令和4年度実績値	233万人（令和3年度実績 218万人）

【評価(チャレンジ目標)】

新型コロナの影響により、年平均275万人の目標は達成できませんでした。

目標値の算定根拠としたコロナ禍前の平成30年度比で、利用者数はコミュニティセンターが延べ約27万人、出雲科学館が延べ約7万人減っています。

<ともに楽しむ>重要業績評価指標(KPI)一覧(1/2)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値	評価	総合戦略重複
					R4年度	R6年度末	R4年度		
芸術文化で豊かな出雲を	103	芸術文化でこころ豊かに	出雲総合芸術文化祭事業鑑賞者数	人/年	7,915	11,360	10,677	A	★
			文化団体加入者数	人/年	6,553	6,600	6,064	B	
			ホール系文化施設利用者数	人/年	191,960	251,000	202,867	A	
			展示系文化施設利用者数	人/年	30,892	59,000	23,534	C	
	104	芸術文化を支える人づくり	出雲芸術アカデミー受講者数	人/年	300	400	312	A	
			出雲芸術アカデミーアウトリーチ数	施設/年	17	20	20	A	
	105	出雲が誇る文化資源を世界へ発信	出雲文化ナビ年間視聴回数	回/年	20,787	36,000	29,288	A	

<ともに楽しむ>重要業績評価指標(KPI)一覧(2/2)

まちづくりの施策	No.	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	単位	目標値		実績値 R4年度	評価	総合戦略重複
					R4年度	R6年度末			
スポーツで元気な出雲を	106	自分を超えろ、神話をつくれ～島根かみあり国スポ・障スポ～	国民体育大会(スポーツ大会)出場者数	人/年	106	—	107	A	
	107	「する」「みる」「支える」スポーツへ～Enjoy Sports Enjoy Life～	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	—	—	—	—	
			市民参加型スポーツ大会(市内)参加者数	人/年	2,424	—	1,300	D	
			大型スポーツイベント(県外)参加者数	人/年	1,459	—	934	C	
			市営スポーツ施設利用者数	人/年	736,462	—	627,211	B	
108	スポーツを支える人づくり	出雲駅伝・出雲くにびきマラソン大会ボランティア総数	人/年	2,225	—	2,200	B		
誰もの「学びたい」を実現	109	地域で学び、楽しむ	出雲科学館年間来館者数	人/年	171,300	173,500	98,778	D	
			生涯学習講座の年間実施回数	回/年	No.97と同様				
	110	なんでも見つかる情報の宝庫	図書貸出総数(年間)	点/年	1,240,000	1,240,000	1,139,499	B	
			個人貸出延べ人数	人/年	236,000	236,000	211,699	B	
			7図書館来館者数	人/年	540,000	540,000	508,241	B	
111	子どもと本のかけ橋に	児童書の貸出冊数	冊/年	547,000	547,000	516,872	B		
出雲の魅力、発信します	112	出雲ファンを増やす	ランディングページから各課ウェブサイトへの遷移数	回/年	6,000	12,000	10,407	A	
			「日本の心のふるさと出雲」応援寄附件数	件/年	23,500	25,000	32,489	A	
	113	「いずも暮らし」からはじめよう	「出雲人-IZUMOZINE-」ホームページコンテンツアクセス件数(ページビュー数/年)	万件/年	15	37	18	A	★
			「いずも暮らし」ホームページコンテンツアクセス件数(ページビュー数/年)	万件/年	20		23	A	★
	114	日本中を駆ける！ヤマタノオロチ(出雲ナンバー)	函柄入り出雲ナンバー交付枚数(年度末累計)	枚	6,000	8,000	7,010	A	★
115	みんなに伝わる出雲の情報	ホームページアクセス件数	千件/年	3,735	3,858	7,825	A		
		SNS登録者数(累計)	人	40,618	41,800	44,151	A		

<ともに楽しむ>重要業績評価指標(KPI)の評価結果

指標数	評価				その他
	A	B	C	D	
25	13	7	2	2	1

【評価】

芸術文化・情報発信などの分野においては、概ね目標を達成しました。

A評価のうち、「『日本の心のふるさと出雲』応援寄附件数」は、目標に対し、約3割寄附件数が伸びました。寄附金額も10億円を超えました。これは、返礼品の充実やポータルサイトの追加等が要因として挙げられます。更なる寄附増に向けて、今後も積極的に取り組みます。

D評価となったのは、2項目でした。

「市民参加型スポーツ大会(市内)参加者数」及び「出雲科学館年間来館者数」については、新型コロナの影響によるイベントの中止や参加自粛、人数制限を行ったことなどが要因として挙げられます。

令和4年度 高校生アンケートの結果(概要)

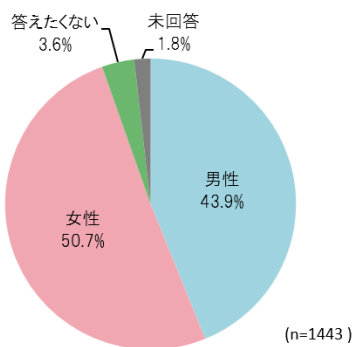
市内の高校生を対象に、現在の出雲市や将来に対する思いや考え、まちづくりの提案などについて調査しました。

調査対象	出雲市内の高校3年生
回収数	1,443人
調査方法	学校を通じて配布・回収(回答は無記名)
調査実施期間	令和4年(2022)9月~10月

1. 回答者の属性

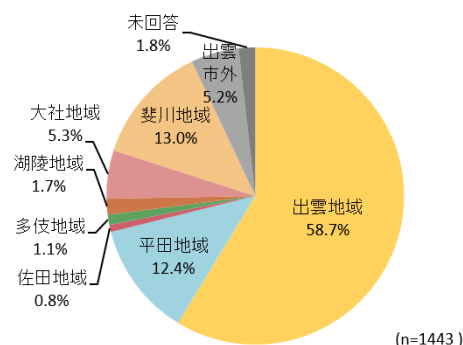
(1) 性別

男性	633人
女性	732人
答えたくない	52人
未回答	26人
計	1,443人



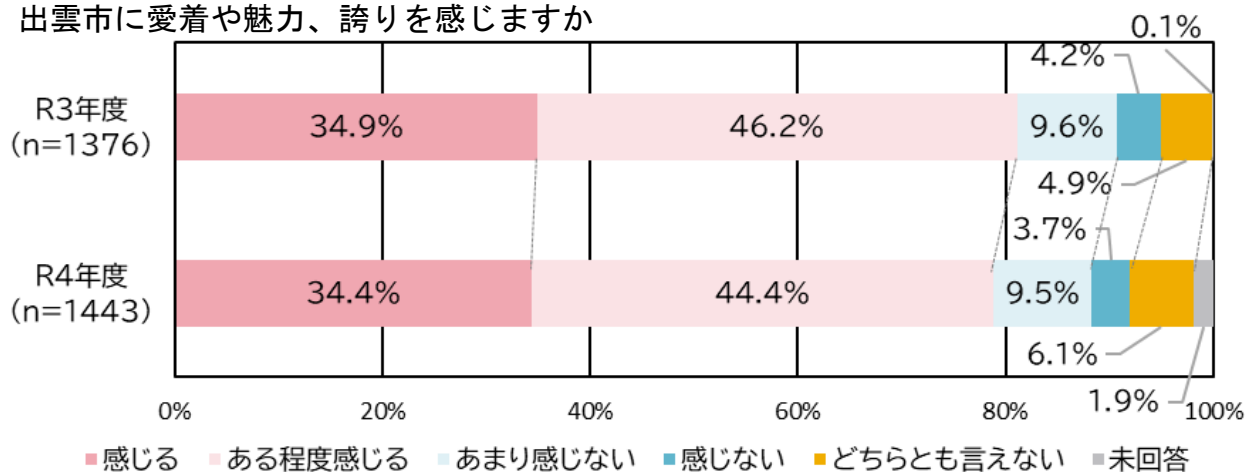
(2) 居住地

出雲地域	847人
平田地域	179人
佐田地域	11人
多伎地域	16人
湖陵地域	25人
大社地域	76人
斐川地域	188人
出雲市外	75人
未回答	26人
計	1,443人



2. 高校生アンケート調査の結果概要

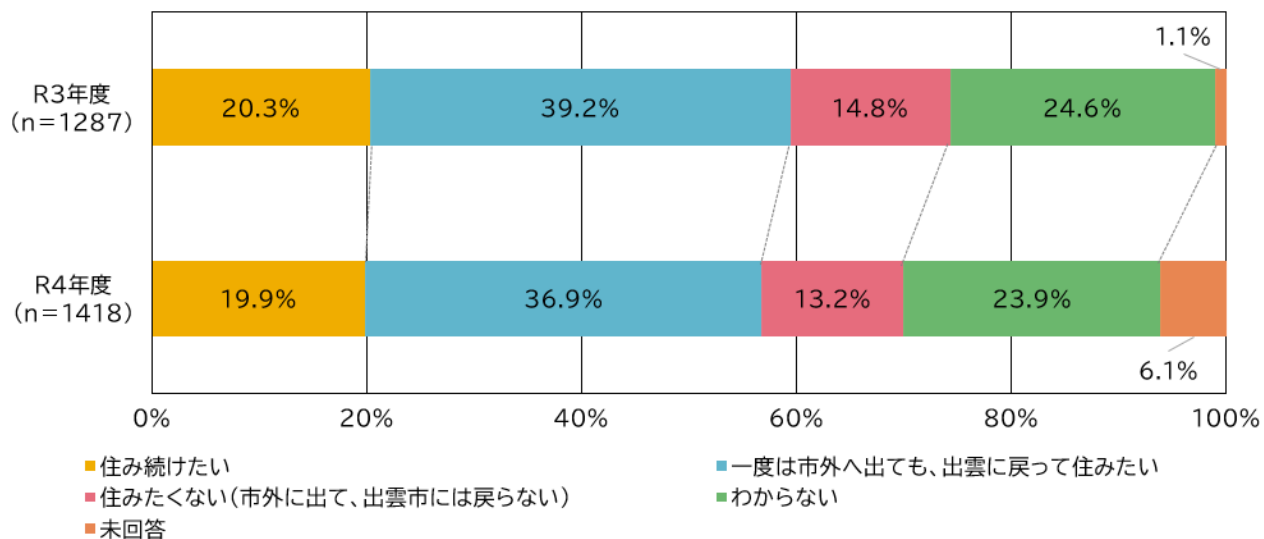
(1) 出雲市に愛着や魅力、誇りを感じますか



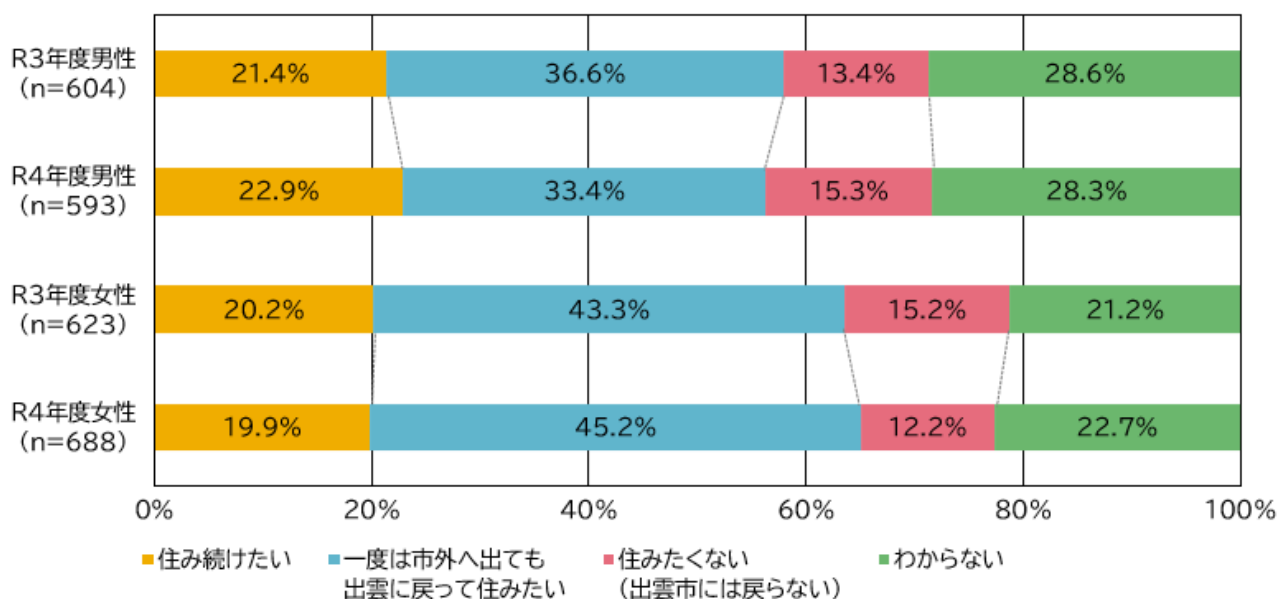
「ある程度感じる」が44.4%で最も高く、「感じる」と合わせると78.8%になり、全体の8割程度が「愛着や魅力・誇り」を感じると回答しています。なお、昨年度から約2ポイント低下しました。

(2) 出雲への定住意向

これからも出雲市に住み続けたいと思いますか。(出雲市にお住まいの方のみ)



【男女別】

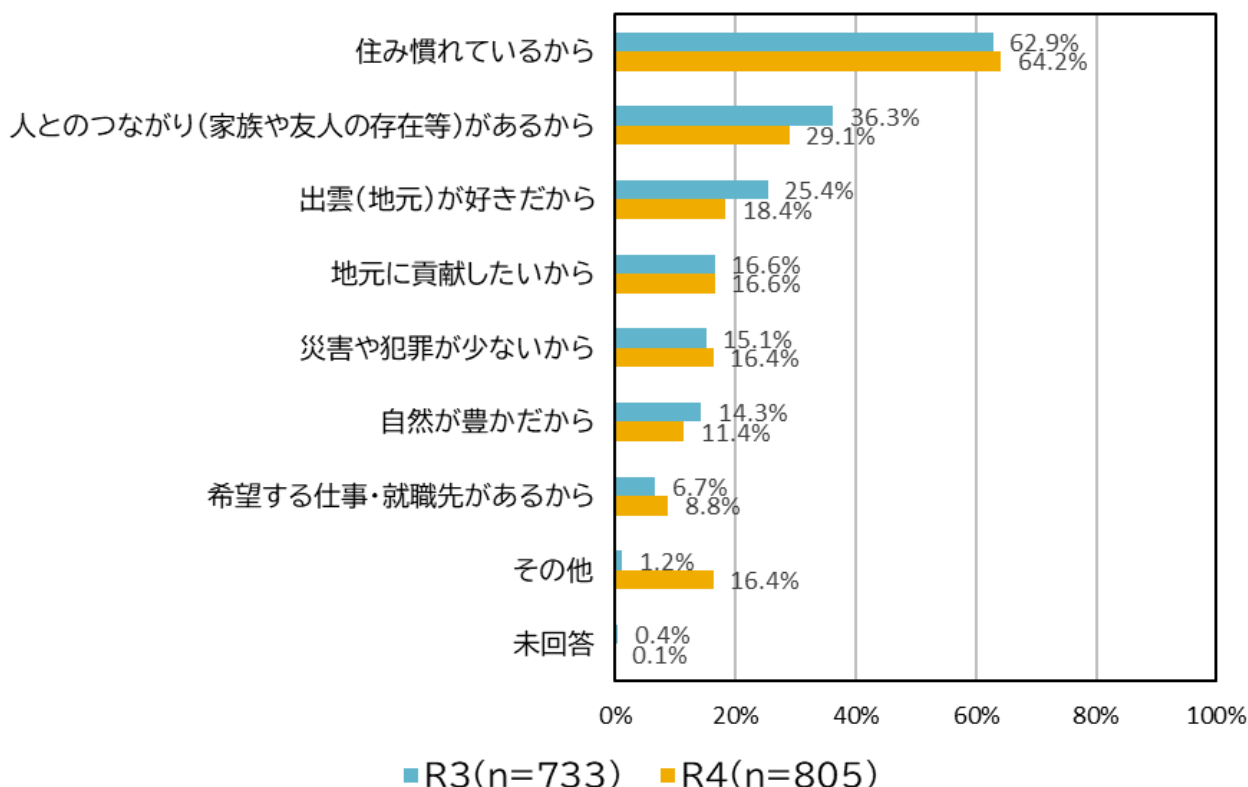


- 「一度は市外へ出て、出雲に戻って住みたい」が36.9%で最も多く、「住み続けたい」の19.9%と合わせると、全体の6割弱が定住意向を示しています。
- 男女別にみると、「住み続けたい」、「一度は市外へ出て、出雲に戻って住みたい」と回答した人が男性は56.3%、女性が65.1%となり、「住み続けたい」と「一度は市外へ出て、出雲に戻って住みたい」をあわせると、女性の割合が高い結果となりました。

●出雲市に住みたい理由を教えてください。

(「住み続けたい」または「一度は市外へ出ても、戻って住みたい」を選択した方のみ)

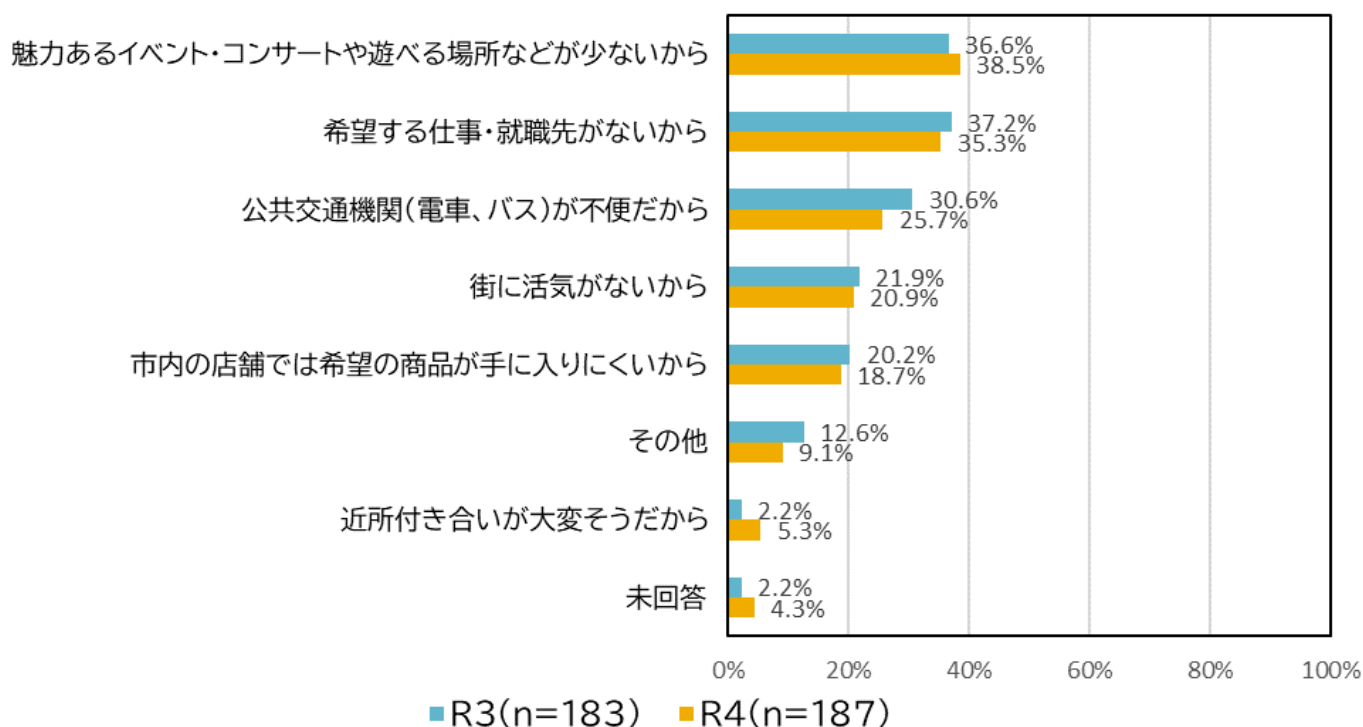
※2つまで選択可



●出雲市に住みたくない理由を教えてください。

(「住みたくない(市外に出て、出雲市には戻らない)」を選択した方のみ)

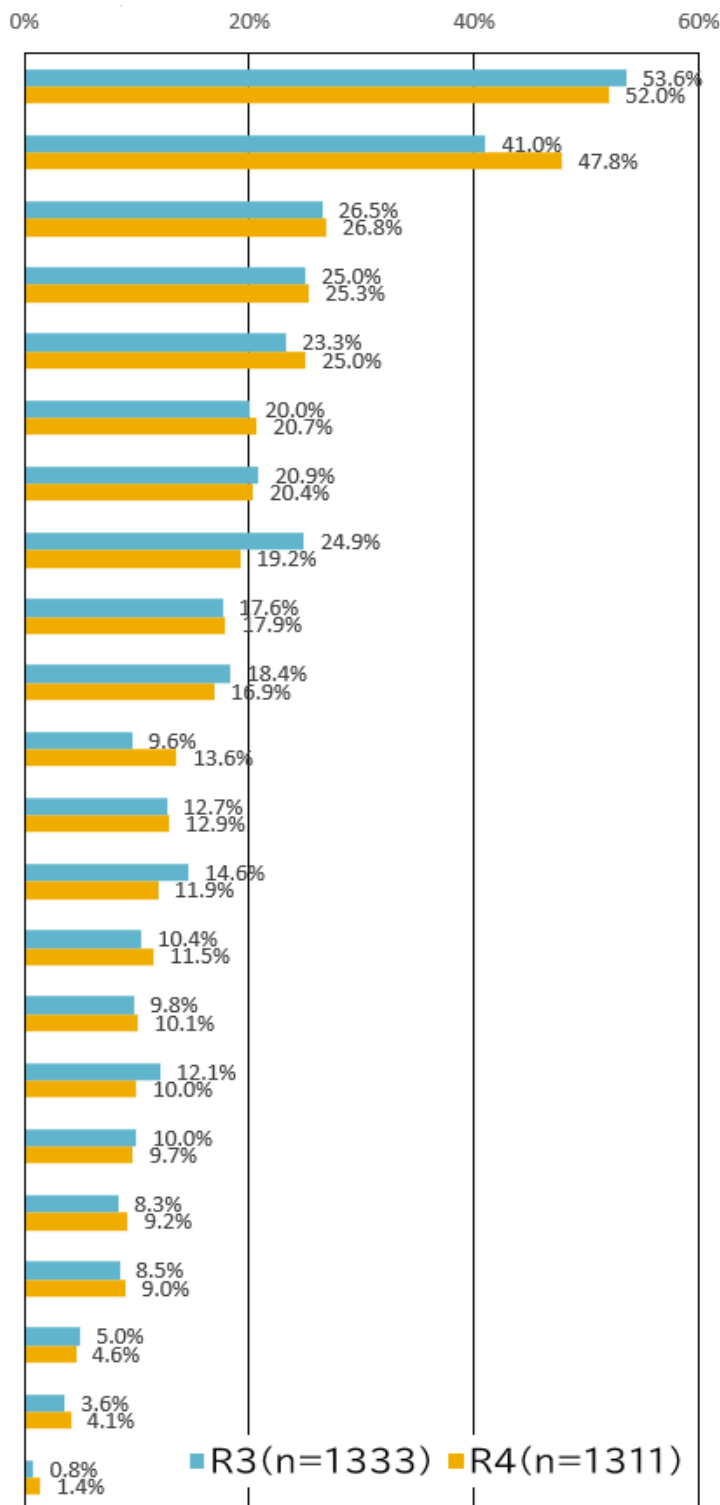
※2つまで選択可



(3) 将来の出雲市について

今後の出雲市のまちづくりに向けて、あなたが重要だと思う取組は何ですか。※5つまで選択可

- バス、鉄道、空路などの交通ネットワークを充実させる
- 人が集まる活気のある商店街を作る
- 芸術文化・スポーツ・レクリエーションの場を拡充・整備する
- 魅力ある大学などの高等教育機関を増やす
- 安心して子育てできる環境を整える
- 企業誘致や地場産業の活性化により魅力ある職場を増やしたり、起業しやすい環境を整える
- AI、ICTなどの先端技術を活用して、地域の課題解決や行政サービスの充実を図る
- 様々な災害に備えるために防災体制を強化する
- 歴史文化遺産や伝統文化を大切にする
- 地域で安心して暮らせるよう医療や福祉の制度を充実させる
- 市内の地域資源等を活用して、積極的に観光振興を図る
- 豊かな自然環境を生かし、農林水産業の振興や再生可能エネルギー（太陽光、風力、バイオマスなど）の活用を図る
- ゴミの減量化やリサイクルを進め、自然環境や生活環境を守る
- 生きる力と夢を育むため、教育環境を充実させる
- 外国人住民との相互理解を進め、ともに安心して暮らせるまちをつくる
- 差別や偏見のない明るく住みよい社会をめざし、人権教育・啓発を進める
- 道路や下水道の整備など生活環境を良くする
- 若者の地域活動や政治への積極的な参加を促進する
- 性別にとらわれず個性と能力を發揮できるよう男女共同参画を進める
- 市民のボランティア活動やまちづくり活動を積極的に支援する
- 近隣の市町村と連携して、広域的なまちづくりを進める
- その他



- 今後の出雲市のまちづくりに向けて、重要だと思う取組としては、昨年度のアンケートと同様に、「バス、鉄道、空路など交通ネットワークを充実させる」が最も高く52.0%、次に「人が集まる活気のある商店街を作る」が47.8%となっており、この2つが特に高くなっています。特に「人が集まる活気のある商店街を作る」は昨年度から7ポイント近く上昇しました。
- 続いて、「芸術文化・スポーツ・レクリエーションの場を拡充・整備する」が26.8%、「魅力ある大学などの高等教育機関を増やす」が25.3%、「安心して子育てできる環境を整える」が25.0%などとなっています。